

若者の 自殺を防ぐための シンポジウム

人と人のつながりで
いのちを
支えあうために

主催：筑波大学 共催：茨城県つくば保健所 / つくば市

趣旨

わが国において年間の自殺者数が3万人を超えて10年以上経過した。平成18年には自殺対策基本法が施行され、国を挙げて自殺を予防するための試みがなされている。中高年男性の自殺が多いとされていたが、近年は若者の自殺も増加傾向にあり、その予防が急務となっている。

一方、自殺は適切に介入することによって、「その多くが防ぐことのできる社会的問題である」（世界保健機構）とも言われている。それでは、身近な人の自殺を防ぐために、私たちには何ができるのであろうか。本シンポジウムは、そのような問題について学び、話し合う機会となることを目的としている。

【日時】 2012年2月17日（金曜日） 14:00～16:30

受付開始 13:30 ※事前の申し込みは必要ありません 「無料」

【場所】 筑波大学3A棟403講義室（第三エリア）

【対象】 教職員、学生等

【内容】（全体司会：佐藤純 筑波大学保健管理センター講師）

挨拶 西川 潔 筑波大学学生担当副学長

石田久美子 つくば保健所所長

1. 基調講演「若者の自殺を防ぐために：広島大学の試み」

内野悌司氏：広島大学保健管理センター准教授

2. パネルディスカッション「若者の自殺予防について考える」

司会：杉江征・堀孝文 筑波大学保健管理センター准教授

話題提供1：「政府における自殺対策」 森山花鈴氏：内閣府自殺対策推進室主査

話題提供2：「誰もがゲートキーパー：筑波大学の現状を踏まえて」 太刀川弘和：筑波大学保健管理センター講師

話題提供3：「広島大学でのピア・カウンセラー活動」 大坂遊氏・縄田真依子氏：広島大学ピア・カウンセラー

総合討論：シンポジストに本学学生、学生担当副学長を含む

挨拶 加賀信広 筑波大学学生生活支援室長